科目名称	小児看護学方法論Ⅰ（症状別看護）	学年学期	単位数	時間数
		2 学年前期	1	15
担当教員	豊田ゆかり	授業に関わる実務経験	■ 有 （ 看護師 ） □ 無	

【1】 授業概要

小児期に特徴的な健康障害について理解し、症状・治療・処置に伴う援助方法を学ぶ。

【2】 学習目標

1. 小児期の順調な経過促進と健全な成長・発達を支える援助の方法が説明できる。
2. 健康障害を持つ小児とその環境についてアセスメントできる。
3. 健康障害を持つ子どもの看護を、経過別、主要症状別に説明できる。
4. 基礎的な小児看護技術について成長・発達に応じた方法を説明できる。

【3】 第 2 看護学科ディプロマポリシーとの関連性

□ 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
■ 2. 人間の生命、人間としての尊厳および権利を尊重した判断および行動をすることができる。
■ 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
■ 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
■ 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種の連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
□ 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
■ 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心をもち、主体的に学び続けることができる。

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	入院を必要とする小児と家族の看護　フィジカルアセスメント概論	講義
2	フィジカルアセスメント各論	講義
3	検査・処置を受ける小児の看護	講義
4	小児を取り巻く環境　小児の心肺蘇生	講義
5	症状を示す小児の看護①	講義
6	症状を示す小児の看護②	講義
7	子どもの見方・接し方	講義・演習
8	筆記試験	

【5】 評価方法

筆記試験(80%)課題(20%)で総合的に評価する。

【6】 教科書

奈良間美保:系統看護学講座 専門分野 小児看護学概論 小児臨床看護総論(第 15 版) 医学書院 2025(電子版)

【7】 参考書

浅野みどり：根拠と事故防止からみた小児看護技術，医学書院

【8】 受講生へのメッセージ

子どもとその家族の看護の特徴や小児看護に関する社会制度の変遷や関連法規について学習していきます。また、症状に対する看護、検査・処置時の看護について具体的に学習していきましょう。（バイタルサイン測定時に使用する機械の取り扱いについて説明します）